

葉山町障害者福祉計画（素案）に対するパブリックコメント（意見募集）の実施結果

実施期間：平成23年12月19日（月）～平成24年1月17日（金）

意見総数：10件（提出人数：10名）

意見の概要	町の考え方
<p>町内のグループホーム（以下GH）は1ヶ所しかなく、満床であることから、他市のGHに空があるときしか利用できない。 「葉山の中で生活させたい」ということが親の願いで、町の財政状況は理解するが、GHの建設には時間を要することから町の長期計画に組み込み、3年計画で予算を考えてほしい。</p>	<p>アンケート調査の今後充実して欲しいサービスでは、全体で「短期入所（ショートステイ）」と「居宅介護」が特に多く、各障害別にみると、身体障害者は「短期入所」、「居宅介護」、「療養介護」、知的障害者は「短期入所」、「共同生活介護（ケアホーム）」、「共同生活援助（グループホーム）」、精神障害者（手帳所持者）では「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」や「就労継続支援」、精神障害者（通院医療受給者）は「生活介護」や「短期入所」といった障害種別ごとに様々な要望をいただいております。</p>
<p>「生まれた土地葉山で一生暮らすこと」が親の願いで、現在町内のGHに入居しているが、借家ゆえの不安があるため、町の土地にGHができるようお願いいたします。</p>	<p>グループホーム（以下GH）の充実については、本計画の策定委員会の中でも「地域移行を進めるためにも、増やしたほうが良い」とのご意見をいただき、これについては町として重く受け止めています。一方、「社会資源としてのGHありきでなく、地域で受け止められる方法の検討をした上でそれでも足りない場合は資源を検討した方が良い」とのご意見もいただいております。社会資源の確保とともにあり方についても課題となっております。</p>
<p>子が年をとってからの事を考えると生活の場が必要であると思います。</p>	<p>そのため、頂いたご提案は、町の障害のある人の地域生活を支えるためのネットワークの構築や支援体制の整備を検討する場である葉山町自立支援協議会等を活用しながら、計画の進行管理の中で社会資源を充実させるための方法等について検討することとし、葉山町障害者福祉計画の「第5章 計画の推進」の中にその役割を加えることとします。</p>
<p>将来入居を検討している私達にとってGHはなくてはならない場所で、町内のGHは借家のため期限があり、代わりの建物が必要です。親ができることは協力しますので実現をお願いいたします。</p>	
<p>現在町内のGHに入居していますが、親の高齢化に伴い子の将来が不安です。町内のGHは借家のため、安心して葉山で生きていけるよう町にGHの実現をお願いいたします。</p>	
<p>「住み慣れた葉山で暮らすこと」が親の願いで、町の財政状況が厳しいことは理解するが、GHの増設をお願いいたします。</p>	
<p>障害のある者が安心して親元から離れて暮らすことのできるGHがぜひほしいです。将来的にGHでの生活を希望するが空がないのが現状で、親と暮らせない状況になってからでは遅いです。GH建設のための予算の確保をお願いいたします。</p>	
<p>現在町内のGHに入居していますが、地元で仲間と生活できることができればGHをお願いいたします。</p>	
<p>現在町内のGHに入居していますが、現在のGHは借家のため期限があり、消防法に定められた対応も不十分です。生まれ育ち、友も親も暮らすこの地で穏やかな生涯を過ごせるよう自前のGHをつくるべく私達も頑張っているが、一番の難題は土地、場所の問題で町有地を何とかして下さるようお願いいたします。</p>	
<p>町内のGHは満床であるため、他市のGHに空があるときしか利用できず、親が急病になった時など非常に困ります。 親の高齢化や親亡き後を考えると不安で365日体制で利用できるGHを建ててほしい。</p>	